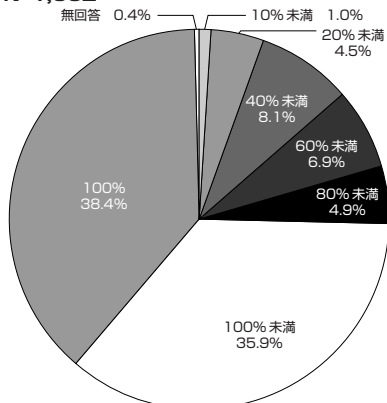


第4章 企業

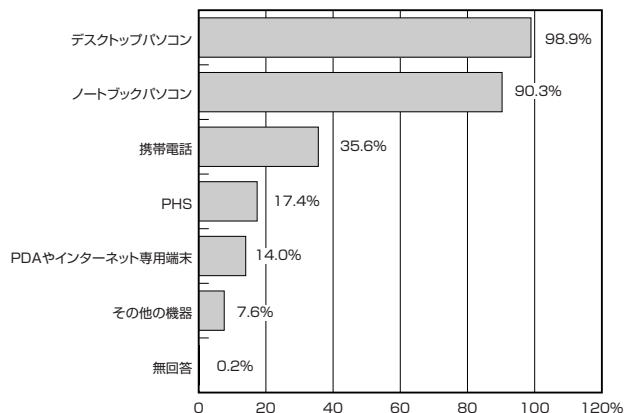
利用機器/サーバー

携帯電話の利用も進む

資料1-4-7 インターネットが利用可能なハードウェアの比率
N=1,662

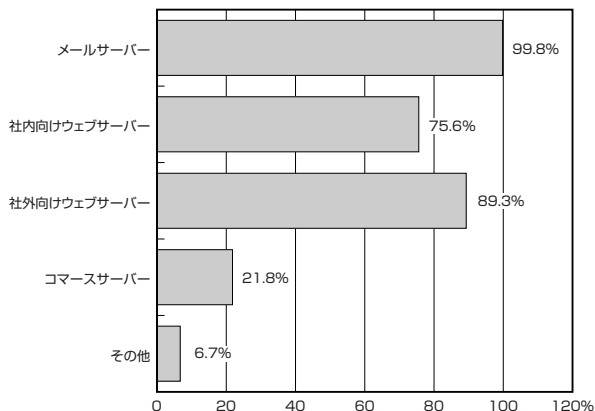
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-8 社内のインターネット利用機器 N=1,662



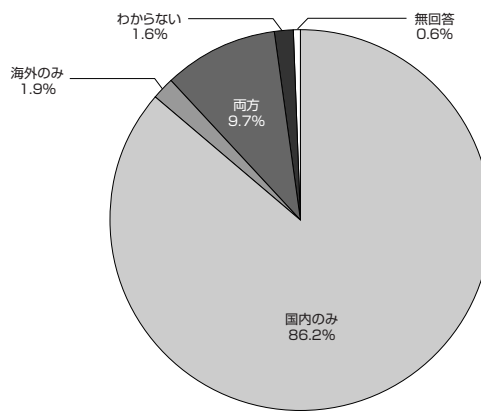
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-9 現在利用中のサーバー形態 N=1,662



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-10 サーバーの設置場所 N=1,662



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

■ 利用機器/サーバー

社内でインターネットが利用可能なハードウェアの比率については毎年聞いているが、平均で一昨年（1999年）の41.1%から昨年（2000年）は71.0%と飛躍的に増加し、今年はさらに79.8%と順調に伸びている。ここでもインターネット利用が企業内で浸透してきている状況がよくわかる結果となった。

また、今年初めて社内のインターネット利用機器についても聞いた。携帯電話の普及もあり、1企業当たり平均2.64種類の機器からインターネットの利用が可能

で、特に従業員が5000人以上で3.22、1万人以上で3.10と規模が大きいほど利用機器の範囲も広いことがわかる。いわゆるデータ通信に向く「PHS」の利用も5000人以上の従業員規模の企業で3割を超えている。同様に「PDAやインターネット専用端末」の比率が相対的に高い一方、50人未満の小企業では「携帯電話」からの利用が比較的多く45%を超えている。

利用中のサーバーの状況については昨年と比較すると全般に増加している。複数のサーバーを利用する企業も着実に増えており、企業内のインターネット利用

が進化していることがわかる。特に社内外向けのウェブサーバーの増加は顕著である。最も利用率が高いのは昨年同様「メールサーバー」で99.8%となっており、昨年の91.0%をさらに上回っている。また、エレクトロニックコマース（EC）の実用が試される中「コマースサーバー」を利用している企業も昨年の11.2%から21.8%と倍増している。

サーバーの設置場所はインフラコストの問題を考慮して海外に設置している企業が11.7%に上った。従業員規模別で見ると、海外にも拠点があると推測される



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp